

印象の心理物理空間の構築と 異なる観察者間における印象共有への応用

Construction of psychophysical space of impression
and application to impression sharing among different observers

松波俊介・法制・倫理分科会・中央大学大学院

研究背景

・ コロナ渦以降、画面を通じた情報のやり取りが増加した。視覚特性は人により異なるため、カラーユニバーサルデザなど色の見え方に対する配慮は進められているが、印象への対策はあまりとられない。本研究では、個人の主観特性を可視化し、異なる観察者間で印象を共有することを目的とする。

提案手法

・ ガンマ補正值によって構築される心理物理空間に布置された印象弁別閾値から、最尤推定により印象弁別閾値楕円を推定する。また、印象弁別閾値を用いて等長変換を行うことで二者間での印象共有を行う。印象共有の評価にはSD法を用いる。

今後の方針

- ・ 測定で用いる絵画の検討
- ・ SD法で用いる形容詞対の検討